



地温抑制型二層フィルムが進化！
真夏の地温上昇を抑制し、農作物の高地温障害を防ぐ。

「チヨールハンシヤ」

近年温暖化の影響を受け、夏場の農作物の高地温障害が大きな問題となっています。さらに地温抑制効果があるマルチ資材が求められる中、開発されたのが「チヨールハンシヤ」です。作物の栽培環境を良くすることにより、猛暑時の病気発生を軽減、および収量・秀品率の上昇をはかります。

北の大地でも
チヨールハンシヤに注目
その効果とは？

地温抑制マルチは北海道においても花弁、イチゴ、レタス、トマトなど多品目で長年使用されています。昨夏の全国的な大猛暑を受け、最も気温が上昇する7～8月の時期に使用する、より地温抑制効果の高いマルチ資材が求められるようになりました。

「チヨールハンシヤ」は従来の白黒ダブルマルチに比べ、物質の熱運動を励起する近赤外線反射率が高く、太陽光の熱線をよく反射して地温の上昇を抑えます(図1)。盛夏期における最高地温(地下7.5センチメートル)はみかど化工(株)製の白黒ダブルマルチより2～3℃、裸地とは同等あるいは1～2℃低下します(図2)。過酷な高温時に発生するトマトやレタスの各種



使用時の注意点

障害の軽減に役立つほか、高温期での定植時の根域環境を整え初期生育を助けます。
今年度は道内各地で花卉、イチゴで試験栽培に使用されました。今後のさらなる普及が期待されています。

「チヨールハンシヤ」は高温期に確実に地温抑制効果が認められるものの、春に地温が上がりにくくなるという特徴があります。使用時期を十分に考慮してお使いいただくことを推奨しています。
チヨールハンシヤの効果をより一層高めていただく方法として、マルチ被覆を定植1週間前に行う方法があります。これにより、地温の安定化が図られ、良いスタートを切ることができます。

●チヨールハンシヤの規格(シート)

規格	フィルム幅	長さ	梱包単位
CH95	95cm	200m	2本
CH135	135cm	200m	2本
CH150	150cm	200m	2本
CH180	180cm	200m	2本
CH210	210cm	200m	2本



●チヨールハンシヤはダイコン栽培において、根長根太とも良好で、秀品率が高まります。(生産地：千葉県)

図1 反射マルチの光反射性

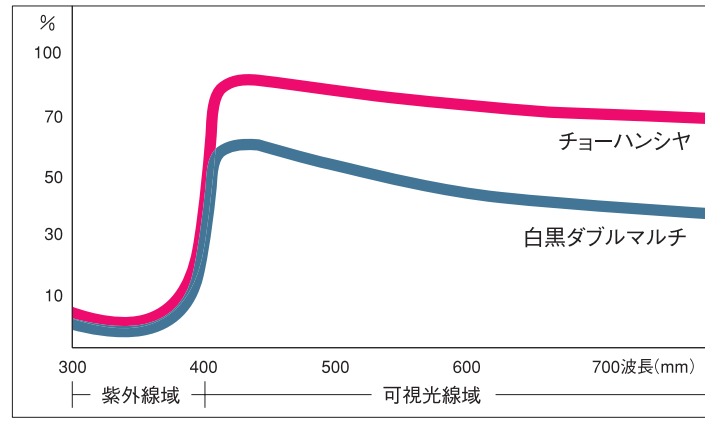
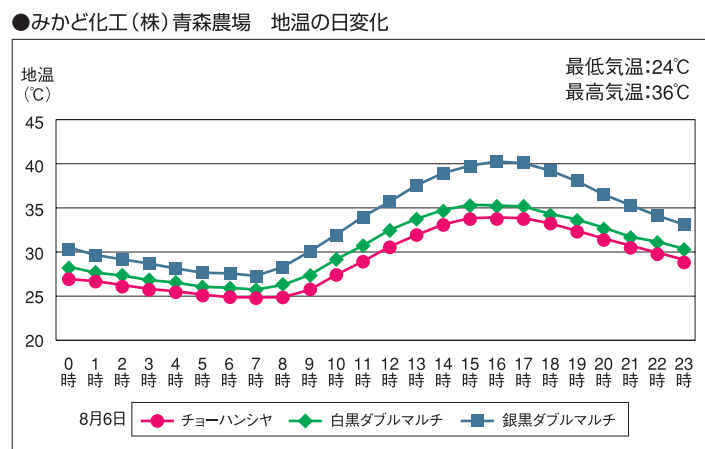
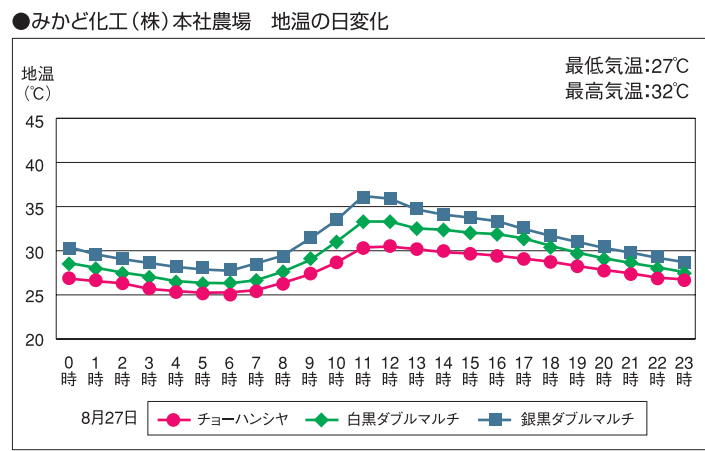


図2 地温の日変化グラフ



●チヨールハンシヤは各種障害の進行を遅らせて、秀品レタスの収穫を助けます。

みかど化工株式会社